

| 研究課題名 | 対象となる方 | 研究目的 | 研究期間 | 研究に用いる情報 | 実施責任者 |
|--|--|---|-----------------------|---|-------|
| 慢性心不全患者のフレイル実態調査 | 2020年9月～2022年3月31日の間にリハビリテーションで理学療法を受けた65歳以上の心不全患者 | ①循環器理学療法を受ける心不全患者のフレイル有病率を明らかにすること ②入院前の身体機能まで回復しないまま退院する心不全患者の割合を明らかにすること ③高齢心不全患者の予後とその関連因子を調査すること | 倫理委員会承認後～2022年3月31日 | ①基本情報(個人特定不可) ②医学的情報(診断名、既往歴、心臓超音波検査、血液データ、治療方法、治療経過) ③理学療法評価(病前生活機能、運動機能、日常生活動作能力、フレイルの有無、理学療法内容) ④予後・退院先 | 小野 環 |
| 2015年出生時を対象としたハイリスク新生児医療全国調査(日本小児科学会) | 2015年1月1日から2015年12月31日に出生体重1000g未満で出生した新生児 | わが国における現状を把握、諸外国との国際比較を行う際のデータとして使用するとともに、今後のわが国の周産期医療の更なる発展につなげる事 | 倫理委員会承認後～2021年9月30日 | 出生体重、在胎期間、性別、搬送の有無、分娩形式、母体へのステロイド投与有無、臨床的絨毛膜羊膜炎有無、妊娠高血圧症候群有無、児が入院した日齢、児の合併症、児の転帰、主たる死亡原因、退院時の体格、在宅医療の有無 ※氏名や生年月日や住所など個人を特定可能な情報は含まない | 萬木 章 |
| 多分野合議による間質性肺炎診断に対する多施設共同前向き観察研究 | 2018年7月以降に診断された20歳以上の間質性肺炎患者 | 間質性肺炎患者さんを対象に、通常行われている検査の結果を集め、病気の性質を調べる | 倫理委員会承認後～2022年6月まで | 臨床情報、アンケート調査、検査結果(採血、CT、病理組織標本、呼吸機能検査など)、治療経過など | 洲脇俊充 |
| 特発性間質性肺炎の前向きレジストリの構築とインタラクティブMDD診断システムを用いた診断標準化に基づく疫学データの創出—AI診断システムと新規バイオマーカーの開発— | 倫理委員会承認後から2022年10月までに診断した20歳以上の特発性間質性肺炎患者 | 特発性間質性肺炎患者さんの臨床情報、胸部高分解能CTデータ、肺病理スライド(該当者のみ)、血液試料を前向きに収集してデータベースを構築し、遠隔MDDシステム(呼吸器専門医、放射線科医、病理医の3者による議論)の検証と確立、AI診断システムの開発、新しいバイオマーカーの開発 | 倫理委員会承認後～2027年12月まで | 臨床情報、胸部高分解能CT、肺病理組織スライド、血液試料 | 洲脇俊充 |
| 下肢骨回旋Alignmentに関する研究 | 2015年5月～2020年10月の間に、当院で下肢全長のCT撮像された方。 | 下肢(大腿骨・脛骨)の回旋Alignmentの個体差・左右差の正常範囲をCTで調査し、骨折手術時の回旋変形の許容範囲と、回旋整復の指標を定める。 | 倫理委員会承認後～2021年6月30日 | 年齢、性別、CT画像データ | 木浪 陽 |
| レセプト等情報を用いた脳卒中・脳神経外科医療疫学調査 | 2016年4月～2020年3月の間に、当院に脳卒中に関連する医療のために通院・入院された方 | 救急搬送を含む入院から退院までの一貫した脳卒中および脳神経外科治療に関する大規模データベースを構築し、その実用性、妥当性の検証を行う。 | 倫理委員会承認後～2026年3月31日まで | 診療報酬算定情報(DPC)、臨床情報、rt-PA静注および血栓回収療法に関する情報、画像データ、リハビリ内容など | 徳永 浩司 |
| 脳卒中の急性期診療提供体制の変革に係る実態把握及び有効性等の検証のための研究 | 2019年1月1日から2021年12月31日の間、急性期脳梗塞に対して機械的血栓回収療法を受けられた方 | 日本脳卒中学会の脳卒中センター認定および新興感染症の拡散等に伴う脳卒中診療体制の変革を、脳卒中急性期医療を担う医療機関の治療実績を基に調査し、今後の急性期脳卒中医療の充実に資する指針を検討し、その安全性、有効性、効率性等の検証を行う。 | 倫理委員会承認後～2024年3月31日まで | 年齢、性別、病名、重症度・治療(薬物、手術など)の内容・臨床検査値、CT等の画像所見・治療経過、など | 徳永 浩司 |
| COVID-19レジストリ研究 | COVID-19と診断され、日本国内の医療機関に入院した者(入院中にCOVID-19と診断された場合を含む) | 本レジストリ研究(COVIREGI-JP)により、研究の礎となる以下のようなデータの収集を行うことができる。 ・国内のCOVID-19症例の臨床疫学的特徴 ・各重症度における臨床疫学的特徴 ・各治療薬・支持療法等の有効性や安全性評価 ・今後の治療薬・予防薬開発や臨床試験等の際に参照可能なベースラインデータ | 倫理委員会承認後～2023年3月31日まで | 臨床情報、患者転帰情報など | 能祖 一裕 |